

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成23年2月10日
【四半期会計期間】	第97期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）
【会社名】	日華化学株式会社
【英訳名】	NICCA CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江守 康昌
【本店の所在の場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理本部副本部長 宮本 和浩
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理本部副本部長 宮本 和浩
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第96期 第3四半期連結 累計期間	第97期 第3四半期連結 累計期間	第96期 第3四半期連結 会計期間	第97期 第3四半期連結 会計期間	第96期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(千円)	21,795,206	23,055,725	7,601,734	7,500,303	29,384,835
経常利益(千円)	1,084,604	840,176	469,002	199,568	1,366,236
四半期(当期)純利益(千円)	653,597	457,363	263,509	142,823	753,079
純資産額(千円)	-	-	11,871,216	12,048,455	12,056,526
総資産額(千円)	-	-	32,894,471	33,600,962	32,600,888
1株当たり純資産額(円)	-	-	572.16	580.23	584.39
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	37.12	25.98	14.97	8.11	42.77
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	30.6	30.4	31.6
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,075,398	390,174	-	-	3,073,449
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	398,147	1,308,622	-	-	1,439,397
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,471,632	893,685	-	-	1,023,213
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	3,087,309	2,614,230	3,522,627
従業員数(人)	-	-	1,121	1,121	1,119

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。以下同じ。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成22年12月31日現在

従業員数（人）	1,121 (82)
---------	------------

（注）従業員数は就業人員（連結会社から連結会社外への出向者を除き、連結会社外から連結会社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員等）は当第3四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成22年12月31日現在

従業員数（人）	533 (65)
---------	----------

（注）従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員等）は当第3四半期会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	前年同四半期比(%)
化学品(千円)	4,883,310	-
化粧品(千円)	955,219	-
報告セグメント計(千円)	5,838,529	-
その他(千円)	33,207	-
合計(千円)	5,871,737	-

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 製商品仕入実績

当第3四半期連結会計期間の製商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	前年同四半期比(%)
化学品(千円)	1,000,347	-
化粧品(千円)	36,200	-
報告セグメント計(千円)	1,036,547	-
その他(千円)	11,704	-
合計(千円)	1,048,252	-

- (注) 1. 金額はセグメント間の内部振替前の数値によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当連結会社は、販売計画、生産状況を基礎として生産計画を立案し、これによって生産をしているので受注生産は行っておりません。

(4) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	前年同四半期比(%)
化学品(千円)	5,953,088	-
化粧品(千円)	1,469,675	-
報告セグメント計(千円)	7,422,764	-
その他(千円)	77,538	-
合計(千円)	7,500,303	-

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
長瀬産業(株)	838,800	11.0	820,048	10.9

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結会計期間（自平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）におけるわが国経済は、一部持ち直しの兆しが見え出したものの、長引く円高やデフレの進行、欧米の財政不安などにより、景気先行きが不透明なまま推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進しましたが、売上高は75億円（前年同期比1.3%減）、営業利益は2億4千万円（同52.7%減）、経常利益は1億9千9百万円（同57.4%減）、四半期純利益は1億4千2百万円（同45.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

化学品事業

売上高は59億5千3百万円、セグメント利益は2億3千7百万円となりました。

エコカー補助金の終了で自動車生産台数が減少したことにより関連産業分野での影響があったものの、中国をはじめとする新興国での経済成長に牽引されて事業拡大を図りました。

化粧品事業

売上高は14億6千9百万円、セグメント利益は3億3千4百万円となりました。

国内連結子会社において好調であった新型インフルエンザ対応医薬部外品の販売が減少したものの、美容業界が依然として厳しい状況の中、新システムトリートメント剤やスタイリング剤等の拡販や新ブランド「イーラル」の積極的な事業展開を進め、美容業界向け製品は好調に推移しました。

その他

売上高は7千7百万円、2百万円のセグメント損失となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、財務活動によるキャッシュ・フローが5億2千5百万円の収入となったものの、営業活動によるキャッシュ・フローが4億7千3百万円の支出となったことや有形固定資産の取得に伴う支出6億8千1百万円等により、第2四半期連結会計期間末に比べ、4億8千6百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には26億1千4百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は4億7千3百万円（前年同期は4億1千8百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億1千2百万円、減価償却費3億2千万円を計上したものの、売上債権の増加に伴う減少4億6千4百万円、たな卸資産の増加に伴う減少7千8百万円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は4億7千7百万円（前年同期は5千4百万円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果調達した資金は5億2千5百万円（前年同期は3千5百万円の調達）となりました。これは主に、借入金の増加と配当金の支払によるものです。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第3四半期連結会計期間における当社グループの研究開発活動の金額は、4億4千7百万円であります。なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設について完了したものは、次のとおりであります。

日華化学株式会社において、前四半期連結会計期間末に計画しておりました鹿島工場の新設については、第一期工事を平成22年11月に完了し、操業を開始しております。

これにより、界面活性剤の生産能力は年間25,000トン増加しました。

なお、日華化学株式会社鹿島工場第二期工事につきましては、投資金額、着手及び完了年月日等を検討中でありませ

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,932,000
計	44,932,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成22年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成23年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,710,000	17,710,000	名古屋証券取引所市場第 二部	単元株式数 1,000株
計	17,710,000	17,710,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成22年10月1日～ 平成22年12月31日	-	17,710,000	-	2,898,545	-	3,039,735

(6)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりませ
 ぬ。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成22年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成22年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 107,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,472,000	17,472	-
単元未満株式	普通株式 131,000	-	-
発行済株式総数	17,710,000	-	-
総株主の議決権	-	17,472	-

【自己株式等】

平成22年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
日華化学株式会社	福井市文京4丁目23番1号	107,000	-	107,000	0.60
計	-	107,000	-	107,000	0.60

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 4月	平成22年 5月	平成22年 6月	平成22年 7月	平成22年 8月	平成22年 9月	平成22年 10月	平成22年 11月	平成22年 12月
最高(円)	396	396	411	438	440	459	455	450	457
最低(円)	375	372	381	397	424	422	410	420	432

(注) 最高・最低株価は、名古屋証券取引所市場第二部におけるものであります。

3【役員の状態】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新職名	旧職名	氏名	異動年月日
社長執行役員	社長執行役員、化学品部門長	江守 康昌	平成23年1月1日
執行役員、化学品部門部門長	執行役員、化学品部門副部門長	草壁 光二	平成23年1月1日

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成22年10月1日から平成22年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表についてはあずさ監査法人による四半期レビューを受け、また、当第3四半期連結会計期間(平成22年10月1日から平成22年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表については有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、あずさ監査法人は、監査法人の種類の変更により、平成22年7月1日をもって有限責任 あずさ監査法人となっております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,787,727	3,826,930
受取手形及び売掛金	7,879,152	7,186,877
有価証券	100,000	-
商品及び製品	2,307,793	2,129,675
仕掛品	309,506	378,667
原材料及び貯蔵品	2,301,059	1,958,756
その他	1,057,517	760,734
貸倒引当金	80,417	82,740
流動資産合計	16,662,340	16,158,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,474,474	4,555,233
機械装置及び運搬具(純額)	2,393,416	1,205,006
土地	6,127,632	6,239,272
その他(純額)	459,782	1,974,391
有形固定資産合計	¹ 14,455,305	¹ 13,973,904
無形固定資産		
のれん	4,443	-
その他	432,145	419,407
無形固定資産合計	436,588	419,407
投資その他の資産	² 2,046,727	² 2,048,676
固定資産合計	16,938,622	16,441,988
資産合計	33,600,962	32,600,888

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,917,283	3,515,886
短期借入金	8,326,314	5,581,245
未払法人税等	119,063	273,684
賞与引当金	232,000	458,000
その他	1,965,316	2,102,650
流動負債合計	14,559,977	11,931,467
固定負債		
長期借入金	3,908,298	5,495,063
退職給付引当金	2,276,174	2,321,819
役員退職慰労引当金	-	169,940
負ののれん	-	20,313
その他	808,057	605,758
固定負債合計	6,992,530	8,612,894
負債合計	21,552,507	20,544,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,168	3,040,167
利益剰余金	6,373,952	6,180,665
自己株式	44,699	42,872
株主資本合計	12,267,966	12,076,506
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	63,136	67,416
為替換算調整勘定	2,117,987	1,854,891
評価・換算差額等合計	2,054,851	1,787,475
少数株主持分	1,835,340	1,767,495
純資産合計	12,048,455	12,056,526
負債純資産合計	33,600,962	32,600,888

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	21,795,206	23,055,725
売上原価	14,434,469	15,412,888
売上総利益	7,360,736	7,642,836
販売費及び一般管理費	1 6,212,487	1 6,686,913
営業利益	1,148,248	955,922
営業外収益		
受取利息	8,459	9,863
受取配当金	14,358	19,805
負ののれん償却額	5,379	4,042
持分法による投資利益	50,003	90,388
助成金収入	48,711	-
その他	102,224	150,220
営業外収益合計	229,137	274,320
営業外費用		
支払利息	133,286	119,203
為替差損	63,444	172,634
その他	96,050	98,227
営業外費用合計	292,781	390,065
経常利益	1,084,604	840,176
特別利益		
固定資産売却益	4,977	61,027
投資有価証券売却益	14,963	-
特別利益合計	19,940	61,027
特別損失		
固定資産除却損	1,895	55,851
固定資産売却損	3,701	43,179
投資有価証券評価損	1,960	11,436
出資金評価損	-	4,921
減損損失	-	2 36,588
特別損失合計	7,557	151,977
税金等調整前四半期純利益	1,096,988	749,225
法人税等	309,610	154,182
少数株主損益調整前四半期純利益	-	595,043
少数株主利益	133,780	137,679
四半期純利益	653,597	457,363

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	7,601,734	7,500,303
売上原価	5,008,661	5,073,809
売上総利益	2,593,073	2,426,493
販売費及び一般管理費	2,084,513	2,186,002
営業利益	508,559	240,491
営業外収益		
受取利息	2,899	3,743
受取配当金	3,599	4,060
負ののれん償却額	1,793	657
持分法による投資利益	15,891	30,750
助成金収入	15,525	-
その他	33,557	36,470
営業外収益合計	73,266	75,681
営業外費用		
支払利息	40,495	40,746
為替差損	44,498	44,314
その他	27,829	31,542
営業外費用合計	112,823	116,603
経常利益	469,002	199,568
特別利益		
固定資産売却益	39	56,543
投資有価証券売却益	760	-
投資有価証券評価損戻入益	-	1,899
貸倒引当金戻入額	-	576
特別利益合計	800	59,018
特別損失		
固定資産除却損	568	44,621
固定資産売却損	3,701	1,567
出資金評価損	-	45
特別損失合計	4,270	46,234
税金等調整前四半期純利益	463,931	212,353
法人税等	158,758	34,954
少数株主損益調整前四半期純利益	-	177,398
少数株主利益	41,663	34,575
四半期純利益	263,509	142,823

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,096,988	749,225
減価償却費	744,954	771,158
減損損失	-	36,588
負ののれん償却額	5,379	4,042
投資有価証券評価損益(は益)	1,960	11,436
出資金評価損	-	4,921
退職給付引当金の増減額(は減少)	34,973	44,993
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	43,470	169,940
賞与引当金の増減額(は減少)	117,950	226,000
貸倒引当金の増減額(は減少)	814	5,977
受取利息及び受取配当金	22,818	29,668
支払利息	133,286	119,203
為替差損益(は益)	18,220	60,472
持分法による投資損益(は益)	50,003	90,388
固定資産処分損益(は益)	619	38,004
投資有価証券売却損益(は益)	14,963	-
売上債権の増減額(は増加)	1,480,204	891,696
たな卸資産の増減額(は増加)	403,321	571,220
仕入債務の増減額(は減少)	1,604,398	507,892
未払消費税等の増減額(は減少)	43,116	78,776
その他	6,418	221,168
小計	2,303,375	23,013
利息及び配当金の受取額	55,419	104,489
利息の支払額	133,499	112,963
法人税等の支払額	149,896	358,686
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,075,398	390,174
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	178,239	66,211
定期預金の払戻による収入	178,118	170,912
有形固定資産の取得による支出	460,439	1,474,387
有形固定資産の売却による収入	27,304	164,522
投資有価証券の取得による支出	20,363	40,442
投資有価証券の売却による収入	20,330	50
その他	35,141	63,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	398,147	1,308,622

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	29,718,120	28,402,547
短期借入金の返済による支出	30,910,004	27,880,984
長期借入れによる収入	1,488,150	1,650,000
長期借入金の返済による支出	1,707,289	950,724
配当金の支払額	238	263,893
少数株主への配当金の支払額	60,163	61,431
自己株式の売却による収入	-	25
自己株式の取得による支出	206	1,852
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,471,632	893,685
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,552	103,286
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	217,171	908,397
現金及び現金同等物の期首残高	2,870,137	3,522,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,087,309	2,614,230

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1)資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。 これによる損益に与える影響はありません。</p> <p>(2)企業結合に関する会計基準等の適用 第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第23号平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成20年12月26日)を適用しております。</p>

【表示方法の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
(四半期連結損益計算書関係)	<p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。</p> <p>前第3四半期連結累計期間において、営業外収益に区分掲記しておりました「助成金収入」は、当第3四半期連結累計期間では、「その他」に含めております。 なお、当第3四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「助成金収入」は5,099千円であります。</p>

	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
(四半期連結損益計算書関係)	<p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。</p> <p>前第3四半期連結会計期間において、営業外収益に区分掲記しておりました「助成金収入」は、当第3四半期連結会計期間では、「その他」に含めております。 なお、当第3四半期連結会計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「助成金収入」は2,997千円であります。</p>

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変動がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2. 棚卸資産の評価方法	当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。 また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。
3. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。
4. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	
販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。		販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
役員報酬及び給料	523,840千円	役員報酬及び給料	576,802千円
賞与引当金繰入額	94,223千円	賞与引当金繰入額	121,788千円
退職給付引当金繰入額	34,485千円	退職給付引当金繰入額	31,534千円
役員退職慰労引当金繰入額	2,850千円		
貸倒引当金繰入額	230千円		

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在) (千円)		現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年12月31日現在) (千円)	
現金及び預金勘定	3,272,522	現金及び預金勘定	2,787,727
預入期間が3か月を超える定期預金	185,212	預入期間が3か月を超える定期預金	173,496
現金及び現金同等物	3,087,309	現金及び現金同等物	2,614,230

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成22年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 17,710千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 108千株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株あたり 配当額 (円)	基準日	効力発行日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	176,064	10	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金
平成22年10月29日 取締役会	普通株式	88,011	5	平成22年9月30日	平成22年12月13日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	工業用薬剤 関連事業 (千円)	化粧品 関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,751,752	1,684,909	165,072	7,601,734	-	7,601,734
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	4,220	-	7,800	12,020	(12,020)	-
計	5,755,973	1,684,909	172,872	7,613,755	(12,020)	7,601,734
営業利益	446,719	370,298	1,122	818,140	(309,580)	508,559

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	工業用薬剤 関連事業 (千円)	化粧品 関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	16,855,705	4,501,439	438,060	21,795,206	-	21,795,206
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	10,688	-	18,321	29,010	(29,010)	-
計	16,866,394	4,501,439	456,381	21,824,216	(29,010)	21,795,206
営業利益又は営業損失()	1,207,696	767,245	5,553	1,969,387	(821,139)	1,148,248

(注) 1. 事業区分は、製品の用途別(工業用、一般消費用)により区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 工業用薬剤関連事業...繊維加工用界面活性剤等、紙パルプ工業用界面活性剤等、金属工業用界面活性剤等、
その他工業用界面活性剤等、業務用洗剤等、その他
- (2) 化粧品関連事業.....シャンプー、コンディショナー、ヘアカラー、スタイリング剤、パーマ剤、その他
- (3) その他事業.....殺菌剤、消毒剤等

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,162,716	2,147,357	291,660	7,601,734	-	7,601,734
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	853,135	97,044	19,551	969,731	(969,731)	-
計	6,015,851	2,244,402	311,212	8,571,466	(969,731)	7,601,734
営業利益	608,520	199,377	13,403	821,301	(312,741)	508,559

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	14,511,304	6,565,475	718,426	21,795,206	-	21,795,206
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,494,219	259,952	88,976	2,843,148	(2,843,148)	-
計	17,005,523	6,825,427	807,403	24,638,354	(2,843,148)	21,795,206
営業利益又は営業損失()	1,367,636	606,714	98	1,974,251	(826,002)	1,148,248

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。
(1) 東南アジア...インドネシア、香港、台湾、タイ、韓国、中国、ベトナム
(2) 北米.....米国

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）

	東南アジア	北米	その他の地域	計
海外売上高(千円)	2,280,770	291,660	195,167	2,767,599
連結売上高(千円)	-	-	-	7,601,734
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	30.0	3.8	2.6	36.4

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

	東南アジア	北米	その他の地域	計
海外売上高(千円)	6,928,133	725,926	536,715	8,190,775
連結売上高(千円)	-	-	-	21,795,206
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	31.8	3.3	2.5	37.6

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。
(1) 東南アジア...インドネシア、香港、台湾、タイ、韓国、中国、マレーシア、シンガポール、ベトナム、フィリピン
(2) 北米.....米国
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別に化学品部門と化粧品部門を置き、各部門は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、「化学品事業」及び「化粧品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「化学品事業」は、繊維加工用薬剤、紙パルプ加工用薬剤、金属加工用薬剤、その他化学品及び業務用洗剤等の生産・販売を行っており、「化粧品事業」は、シャンプー、コンディショナー等のヘアケア製品、ヘアカラー、スタイリング剤、パーマ剤等の生産・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,401,760	4,421,359	22,823,119	232,605	23,055,725
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,642	-	8,642	14,938	23,581
計	18,410,402	4,421,359	22,831,762	247,544	23,079,306
セグメント利益又は損失()	1,135,777	903,193	2,038,970	25,286	2,013,683

当第3四半期連結会計期間（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,953,088	1,469,675	7,422,764	77,538	7,500,303
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,589	-	3,589	4,433	8,022
計	5,956,677	1,469,675	7,426,353	81,971	7,508,325
セグメント利益又は損失()	237,037	334,932	571,970	2,389	569,580

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業等であります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント	2,038,970
「その他」の区分の利益	25,286
セグメント間取引消去	15,811
のれんの償却額	1,513
全社費用(注)	1,075,086
四半期連結損益計算書の営業利益	955,922

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント	571,970
「その他」の区分の利益	2,389
セグメント間取引消去	4,067
のれんの償却額	622
全社費用(注)	333,779
四半期連結損益計算書の営業利益	240,491

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)		前連結会計年度末 (平成22年3月31日)	
1株当たり純資産額	580.23 円	1株当たり純資産額	584.39 円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	37.12 円	1株当たり四半期純利益金額	25.98 円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益(千円)	653,597	457,363
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	653,597	457,363
期中平均株式数(千株)	17,606	17,603

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	14.97 円	1株当たり四半期純利益金額	8.11 円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益(千円)	263,509	142,823
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	263,509	142,823
期中平均株式数(千株)	17,606	17,602

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成22年10月29日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・88,011千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・5円00銭

(ハ) 支払い請求の効力発生日及び支払開始日・・・平成22年12月13日

(注) 平成22年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年2月8日

日華化学株式会社
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 坂下 清司 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日華化学株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日華化学株式会社及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年2月9日

日華化学株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂下 清司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日華化学株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日華化学株式会社及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。